放射線治療のご案内

日高病院では、がん患者さんのライフスタイルを最優先に考えた「全人的医療」を目指しています。それぞれの患者さんのがんの種類や状態に合わせて、各診療科の専門医と各部門が密に連携して、正確な診断と積極的な治療から、種々の療養支援や緩和医療まで、一貫して先端的な高度医療を提供できる体制を整えています。
現在、前立腺がん、乳がん、肺がん、食道がん、大腸がん、膀胱がん、脳腫瘍、さらに種々のがんの脳転移、骨転移、その他の患者さんに高精度の放射線治療を行っています。

充実した診療体制

腫瘍センター長
長谷川　正俊
日本専門医機構認定放射線科 専門医
日本放射線腫瘍学会/日本医学放射線学会
放射線治療専門医

ガンマナイフセンター
主任センター長
柴崎　徹
日本脳神経外科学会 専門医

放射線科医員
今村　文香

脳神経外科部長
大澤　匡
日本脳神経外科学会 専門医
日本がん治療 認定医

外来診察スケジュール

	月	火	水	木	金	土
午前	長谷川 今村	長谷川 今村	長谷川 今村	長谷川	岡本（温熱） 今村	柴 崎 （ガンマナイフ）
午後	長谷川 今村	長谷川 今村	長谷川 今村	長谷川	今村	
	柴 崎 （ガンマナイフ）	大西	河村	大 澤 （ガンマナイフ）	河村	

安心して治療を受けていただくために

無料送迎サービス

放射線治療中、交通手段がなく通院が困難な方を対象に、ご自宅から日高病院間を当院スタッフが送迎します。

- 群馬県全域
- 栃木県西部
- 埼玉県北部

<2020年度>
350人/1851回実施

サポート体制

当院では、安心して治療をお受けいただくために、放射線腫瘍医、放射線技師、医学物理士、看護師がチームとなって患者さまやご家族の皆さまのサポートいたします。

無料託児サービス

子育て中の方にも、安心して治療していただけるよう、併設の保育園でお子様をお預かりします。（事前予約制）

待合ルーム

リラックスして治療を受けていただけるよう、広く落ち着いた雰囲気の待合室をご用意しております。

ご予約・お問い合わせは
お気軽にどうぞ

日高病院　027-362-6201（代）

診察から放射線治療までの流れ

1. 診察

専門医が診察を行い、放射線治療が適切かどうか判断します。治療をお勧めできる場合は、治療効果や有害事象などの詳しい説明を行います。

2. 治療計画

専用の計画用CTを撮影します。あわせて、診断用のMRIやPET-CTなども行い、照射の部位や放射線量、照射回数など、専門医や医学物理士が治療計画を立てます。

治療計画専用CT

高精度の放射線治療を正確に実施するための準備として、治療を開始する前に、専用のCTで検査を実施します。

3. 治療

照射時間は数分程度で、体で放射線を感じることや痛みはありません。治療は基本的に月～金の週5日間行います。治療の回数や期間は、腫瘍や治療の内容によって異なります。治療中は定期的に医師の診察があり、治療経過や有害事象の確認を行います。

トモセラピー Radixact

ガンマナイフ Perfexion

ハイパーサーミア Thermotron-RF8

4. 経過観察

放射線治療の効果が出てくるまでには、ある程度の時間が必要なことが殆どです。治療効果や有害事象の確認のため、治療終了後も定期的な通院をお勧めします。

放射線治療は、治療中の痛みが少なく、また治療に要する時間も短いため、身体的な負担が軽い治療法です。高齢の方や持病をお持ちで負担のかかる手術治療が難しい方の治療も可能です。ご質問・ご相談は随時受け付けておりますので、お気軽にお電話ください。

最新の医療機器と県内屈指の治療実績

トモセラピーRadixact

トモセラピーラディザクトは放射線を360度51方向から照射し、たとえいびつな形のがん病巣であっても、正常な組織に大きな影響を与えることなく、がんだけに集中して照射できます。また照射の直前に、搭載されたCTで撮影し、照射位置を照合するため、照射の誤差はわずか数ミリまで抑えられます。

乳がん
食道がん
前立腺がん
肺がんなど

毎年200件以上の治療を行い、現在では3006件（2021年9月現在）の治療実績です。

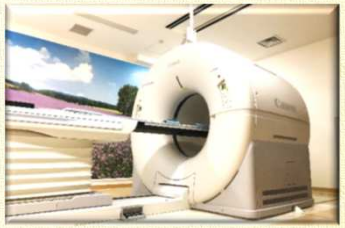
ガンマナイフPerfexion

ガンマナイフは192個のガンマ線を虫眼鏡の焦点のように集め、病巣部に照射する頭部専用の放射線装置です。1本1本のガンマ線の力は弱いため、周辺の正常組織へ影響は少なく、外科的治療では困難な脳深部の治療に効果を発揮します。また開頭手術と比べて、体への負担が少ないので、高齢の方や持病があって手術に耐えられない方の治療も可能です。

脳腫瘍
脳動脈奇形
など

2泊3日の短期入院で治療ができます。
現在4504件（2021年9月現在）の治療実績です。

PET-CT Celesteion



PET-CTは、腫瘍の位置や大きさ、その性質を詳しく調べることができます。一回の検査で全身の精査が可能で、がんの早期発見や転移の有無の発見に役立ちます。

PET-CTを使用した検査は、がん細胞が正常の細胞に比べて多くのブドウ糖を取り込むという性質を利用して、放射線薬剤FDGを体内に投与し、撮影します。PET装置とCT装置を併用することで、より鮮明な画像で、腫瘍の位置や大きさを確認することができます。一度の検査で、ほぼ全身を調べられるため、がんの早期発見、病期(進行度)診断、転移、再発を調べるのに重要な検査です。

ハイパーサーミア Thermotron-RF8

ハイパーサーミアは電磁波を体に当て、加温する温熱治療装置です。がん組織が正常組織に比べ熱に弱いことを利用し、がん細胞を42～44度に温め変化させます。放射線治療、抗がん剤治療と組み合わせることで、治療効果を増強させることが期待できます。
　また温熱療法治療は正常組織にダメージを与えることなくがんの病巣のある領域を治療することができるので、副作用や後遺症などはほとんど見られません。

現在410件（2021年9月現在）の治療実績です。